

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	山梨県地域ICT推進協議会	代表者名	進藤 中
担当者部署	事務局	連絡先電話番号	055-223-1416
担当者役職		担当者氏名	
住所	400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	山梨県	連絡先部署	情報政策課
担当者氏名		連絡先電話番号	055-223-1416
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川崎 直也
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	実際の市役所業務へAI・RPAの導入を行った実体験について、業務改革プロジェクトの担当者から直接ご講演いただくことができ、大変参考になった。 当日は自治体職員からも多数の質疑があり、活発な意見交換が行われていた。
アドバイザーへの要望事項	市町村においてAI・RPAを導入する際の庁内調整や財政当局との調整に関してアドバイスをいただけるとなお良いと思う。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年12月20日	14時00分	16時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	山梨県庁防災新館301会議室		最寄駅	甲府駅
	所在地	甲府市丸の内1-6-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体職員	56人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	AI、RPAを活用した事業を進める上で、具体的な利用イメージ・用途が明確でなく、事業を進める際の課題・障害となっている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	県内地方自治体におけるAI・RPAの利活用の促進。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	AI・RPAの導入・活用事例に関して、自治体職員対象のセミナーにてご講演をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	業務の効率化や地域の課題解決を目指すAI・RPAの活用事例についてご講演いただいた。実際に泉大津市においてAI・RPAを活用した業務改革プロジェクトを担当している講師の方から、具体的なAI・RPAの活用事例をご講演いただき、参加者の理解が深まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	AI・RPAを活用する業務の棚卸や庁内調整を行うためには人的コストがかかり、県内自治体における具体的な事業への導入はまだ検討段階である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 他の講演や市町村への調査依頼等と併せて企画しており、内容が多岐に渡るなどから、今回のセミナーに関してはアドバイザーの講演に関するアンケートは実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	県内自治体において、AI・RPAを活用した事業を実施し、業務改善・地域課題の解決などの成果を上げる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

